

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2005-182043(P2005-182043A)
 【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報2005-026
 【出願番号】特願2004-366900(P2004-366900)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)
 C 0 9 J 5/00 (2006.01)
 C 0 9 J 201/00 (2006.01)
 G 0 2 F 1/167 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 4 2 Z
 C 0 9 J 5/00
 C 0 9 J 201/00
 G 0 2 F 1/167

【手続補正書】
 【提出日】平成19年12月13日(2007.12.13)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

逆に帯電した粒子を有する物質を含有する複数のマイクロセルを封止する方法であって、前記マイクロセルは、少なくとも第1の基板と、前記第1の基板から伸びる壁のマイクロ構造とによって画定され、

第2の基板の第1の基板側と、前記壁のマイクロ構造の露出した端部との少なくとも1つに沿って、接着性物質を含有する複数の接着剤マイクロカプセルを適用することと、

前記第2の基板の前記第1の基板側を前記壁のマイクロ構造の前記端部に隣接させて位置決めし、

前記複数の接着剤マイクロカプセルの少なくとも1部を破壊して、前記壁のマイクロ構造の端部と前記第2の基板の前記第1の基板側との間に接着性物質を施すことを含む前記方法。

【請求項 2】

前記マイクロカプセルを適用することの前に、

前記第2の基板の第1の基板側と前記壁のマイクロ構造の前記端部との1つを被覆することをさらに含み、

前記被覆が、ディップコーティング、スプレーコーティング、スピンコーティング、ローラコーティング、スクリーン印刷、電着、ドクターブレードング、及び転写技術の少なくとも1つにより行われる、請求項1に記載の逆に帯電した粒子を有する物質を含有する複数のマイクロセルを封止する方法。

【請求項 3】

逆に帯電した粒子を有する物質を含有する複数のマイクロセルを封止する方法であって、
前記マイクロセルは、少なくとも第1の基板と、前記第1の基板から伸びる壁のマイクロ

構造とによって画定され、

第2の基板の第1の基板側と、前記壁のマイクロ構造の露出した端部との少なくとも1つに沿って、接着性物質を含有する複数の接着剤マイクロカプセルを適用することと、

前記適用した複数の接着剤マイクロカプセルの少なくとも一部分に、被覆を行うことと

、

前記第2の基板の前記第1の基板側を前記壁のマイクロ構造の前記端部に隣接させて位置決めし、

前記被覆された複数の接着剤マイクロカプセルの少なくとも1部を破壊して、前記壁のマイクロ構造の端部と前記第2の基板の前記第1の基板側との間に接着性物質を施すことを含む前記方法。

【請求項4】

第1の基板と、

前記第1の基板から伸びると共に、露出した端部を有する、壁のマイクロ構造と、

前記壁のマイクロ構造の前記端部に隣接して位置付けられた第1の基板側を有する第2の基板と、

前記壁のマイクロ構造の前記端部と前記第2の基板の前記第1の基板側との間に位置付けられた接着性物質とを含み、

前記接着性物質は、前記壁のマイクロ構造の前記露出した端部と前記第2の基板の前記第1の基板側との1つの上に配置された複数のマイクロカプセルから分散される、マイクロセル封止構造。